CHIBA UNIVERSITY

令和８年１１月５日
国立大学法人千葉大学

アスパイア・プロジェクト報告会が実施されました。

千葉大学医学部では、令和８年１０月３０日（金）、医学部棟（医学系総合研究棟）3F　アクティブ・ラーニング・スペース「未来と創造」にて、令和８年度第３回アスパイア・プロジェクト報告会が実施され、医学部６年次生がスライドにより各々の成果報告を行いました。



発表の様子

アスパイア・プロジェクトとは、カリキュラム上、臨床実習が行われている期間において、個人毎に設定された８週の間に行う主体的活動のことを指します。この期間中は通常の臨床実習には参加しない為、学生は皆、比較的自由に時間を使う事ができるこの期間中に、自らのキャリア形成や能力向上を目的とした活動計画を自由に立案し、実施・振り返りを行うことで、医学・医療に携わる者としてのプロフェッショナリズム等を向上させることができます。

今回は既にアスパイア・プロジェクト期間が終了している４３名の学生が発表しましたが、検定を取得した方、国内外の多様な医療現場に参加した方など内容は多岐に渡り、会場は大いに盛り上がりました。

発表が終了したのちには、医学部の教員による厳正なる採点が行われ、その結果、最優秀賞として１名、優秀賞として２名が以下の通り選ばれました。



表彰の様子

＊表彰状授与者　発表テーマ

・最優秀賞：安田　圭一朗さん（写真中央）
「デュッセルドルフ大学における海外臨床実習」

・優秀賞：緒方　邑ノ典さん（写真右）
「加齢マウスの睡眠・炎症に関する研究への参加」

・優秀賞：中本　真緒さん（写真左）
「日本病理学会総会学生ポスター発表」



表彰者全員で集合写真